

令和6年度 加古川市立別府小学校学校評価について

令和6年度の教育活動についての評価をお知らせいたします。保護者アンケートや児童アンケートとともに、年度初めに立てた教育目標に関する達成状況を教職員が自己評価し、改善の方策を示しました。学校運営協議会委員の皆様には、保護者アンケート・児童アンケート・教職員の自己評価の結果についてご意見を伺い、学校関係者評価としております。この学校評価を来年度の教育活動に活かしてまいります。今後も別府小学校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学 校 目 標	こころ豊かに学び続ける健康で明るいべふっ子の育成			
めざす児童像	互いに認め合い、生き生きと学び活動するべふっ子			
目 標	実践目標	学校自己評価		学校関係者評価 (自己評価の適切さ)
		達成状況	改善の方策	
(1) かしいべふっ子 ～確かな学力を培います～	・協同的探究学習による「わかる学力」の向上で学び続ける児童の育成を図ります ・基礎・基本の定着で「できる学力」の向上を図ります ・一人一人に応じたきめ細かな指導をします ・個々のニーズに応じた特別支援教育を推進します。	A	・十分な基礎基本の定着のために、各学年で学ぶべき内容をしっかり身につけさせることで、学力の向上を図る。 ・同室複数指導等、授業のサポート体制の充実を推進する。	子どもたちが生きる社会状況を見据えて、ＩＣＴ機器の強みを有効に活用し、児童の学力の向上や学習習慣の定着に努めてほしい。
(2) やさしいべふっ子 ～豊かな心を育てます～	・子どもの心にひびく道徳教育を推進します ・豊かな心を養う人権教育を推進します ・児童の内面理解に基づく生徒指導を充実します ・自主的実践的な態度を育てる特別活動を充実します ・基本的生活習慣を身につけさせます	A	・特別活動の時間を活用して異学年交流をさらに増やし、個々の児童が自己肯定感を高める取組を意図的に設定する。 ・「べふっ子のくらし」を教職員と家庭とが共通理解したうえで連携して指導に当たる。	今後も現在の取組を継続しながら、児童の自己肯定感を高めていく取組を充実させてほしい。
(3) たくましいべふっ子 ～健やかな体と心を育てます～	・体力づくりの日常化を図ります ・健康教育を推進します ・食育を推進します	B	・運動の楽しさを実感できる体育に取り組む。 ・近隣学年で合同体育などを実施する機会を設けることで、普段から異学年と一緒に運動するきっかけを作っていく。	児童が屋外で自然と体を動かすようになる機会や環境の設定を家庭や地域も、学校とともに推進していきたい。
(4) 家庭・地域社会との連携協力 ～地域総がかりの教育を進めます～	・「学校園連携ユニット」の推進を図ります ・学校の情報をお知らせし、意見を伺います ・安全・安心な学校づくりを推進します	A	・家庭や地域との連携を図り、ゲストティーチャーや学校支援ボランティアを招聘したり、安全点検を実施したりすることでより豊かで、安全・安心な学校づくりを推進する。	校外学習や交流体験、職業体験は児童の成長にとってとても重要である。地域や家庭と連携し、活動を進めてほしい。
(5) 教職員の資質向上 ～研修に努め実践的指導力を磨きます～	・専門性と実践的指導力の向上に努めます ・コンプライアンス推進に努めるとともに人権感覚を磨き、人間力を高めます ・組織力向上に向けた協働体制を確立します	A	・テーマを決め、研究を深めていく。 ・課題について全教職員で共有し、「チーム学校」として同じ方向を向いて取り組んでいく。 ・職員研修を実施し、職員一人ひとりの指導力や人権意識を高めていく。	児童が何か困ったときにすぐに相談をしやすい学校になるように、相談体制等の環境づくりにこれからも努めていってほしい。

※自己評価結果（達成状況）【A：よくできている B：できている C：あまりできていない D：できていない】

A、B合わせて80%以上を「A」、C、D合わせて20%以上を「C」と評価